【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2002-334520(P2002-334520A)
【公開日】平成14年11月22日(2002.11.22)
【出願番号】特願2002-63833(P2002-63833)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１１Ｂ　20/10
　Ｇ１１Ｂ　 7/005
　Ｈ０４Ｂ　 3/06
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　20/10　　３２１Ａ
　Ｇ１１Ｂ　 7/005　　Ｂ
　Ｈ０４Ｂ　 3/06　　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月26日(2005.1.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
記録媒体に記録されているRLL（Run Length Limited）符号化された信号を読み取って得られた読取信号に対して波形等化を行って等化補正読取信号を得る波形等化器であって、
　前記読取信号の振幅レベルを最小反転間隔の次に短い記録データに対応する前記読取信号の振幅よりも小さい振幅制限値にて制限して振幅制限読取信号を得る振幅制限手段と、
　前記振幅制限読取信号をフィルタリング処理したものを前記等化補正読取信号として出力するフィルタと、を備えたことを特徴とする波形等化器。
【請求項２】
前記フィルタは、前記最小反転間隔の記録データに対応する信号を強調するフィルタであることを特徴とする請求項１に記載の波形等化器。
【請求項３】
前記フィルタは、（－ｋ、ｋ、１、ｋ、－ｋ）なるタップ係数を有するＦＩＲフィルタであることを特徴とする請求項１又は２に記載の波形等化器。
【請求項４】
前記振幅制限値は、前記最小反転間隔の記録データに対応する読取信号の振幅以上であることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか一項に記載の波形等化器。
【請求項５】
記録媒体に記録されているRLL（Run Length Limited）符号化された信号を読み取って得られた読取信号に対して波形等化を行って等化補正読取信号を得る波形等化器であって、
　前記読取信号をフィルタリング処理する第１フィルタと、
　前記読取信号の振幅レベルを最小反転間隔の次に短い記録データに対応する前記読取信号の振幅よりも小さい振幅制限値にて制限して振幅制限読取信号を得る振幅制限手段と、
　前記振幅制限読取信号をフィルタリング処理する第２フィルタと、
　前記第１フィルタ及び前記第２フィルタ各々によってフィルタリング処理されて得られた信号同士を加算したものを前記等化補正読取信号として出力する加算器と、を備えたことを特徴とする波形等化器。

【請求項６】
前記第１フィルタは、当該第１フィルタの出力と前記第２フィルタの出力との遅延時間を一致させることを特徴とする請求項５に記載の波形等化器。
【請求項７】
前記第２フィルタは、前記最小反転間隔の記録データに対応する信号を強調するフィルタであることを特徴とする請求項５又は６に記載の波形等化器。
【請求項８】
前記第２フィルタは、（－ｋ、ｋ、０、ｋ、－ｋ）なるタップ係数を有するＦＩＲフィルタであることを特徴とする請求項５乃至７のいずれか一項に記載の波形等化器。
【請求項９】
前記振幅制限手段に入力される前記読取信号に対して、フィルタリング処理する第３のフィルタを更に備えることを特徴とする請求項５乃至８のいずれか一項に記載の波形等化器。
【請求項１０】
記録媒体から記録情報の再生を行う記録情報再生装置であって、
　前記記録媒体から前記記録情報の信号を読み取るピックアップと、前記ピックアップで読み取られた読取信号に対して波形等化を行って等化補正読取信号を得る波形等化器と、前記等化補正読取信号を復調して再生信号を出力する復調手段と、を備え、
　前記波形等化器は、前記読取信号の振幅レベルを最小反転間隔の次に短い記録データに対応する前記読取信号の振幅よりも小さい振幅制限値にて制限して振幅制限読取信号を得る振幅制限手段と、
　前記振幅制限読取信号をフィルタリング処理したものを前記等化補正読取信号として出力するフィルタと、を備えたことことを特徴とする記録情報再生装置。